

令和のお木曳

編集発行 伊勢御遷宮委員会
伊勢市岩瀬1丁目7-17
(伊勢商工会議所5階)
TEL 0596-25-5215
✉ jimukyoku@ise-gosengu.com
お木曳行事の広報紙
令和7年3月2日発行

第4号



左より(敬称略) 奉曳本部理事長(伊勢商工会議所会頭) 山野稔、奉曳本部長(伊勢市長) 鈴木健一、神宮大宮司 久邇朝尊、神宮少宮司 齊藤郁雄

お木曳行事に向けて 奉曳本部・奉曳団連合会結成



内宮参集殿での奉曳本部結成式の締めくくりに
出席者一同による万歳三唱

第六十三回神宮式年遷宮 お木曳行事

令和7年 6月8日～10日 御樋代木奉迎奉曳行事

令和8年 4月中旬 御木曳初式(役木曳)

令和8年 5月上旬～8月上旬 第一次お木曳行事

令和9年 5月上旬～8月上旬 第二次お木曳行事

*社会情勢等により変更となる場合があります

建国記念の日の令和7年2月11日、「第六十三回神宮式年遷宮用材奉曳本部・奉曳団連合会(本部長/会長 鈴木健一「伊勢市長」)」が立ち上がりました。午前中に伊勢商工会議所にて奉曳団連合会、午後から内宮参集殿にて奉曳本部の結成式が行われました。伊勢市長、伊勢商工会議所会頭、伊勢市観光協会会長、及びお木曳行事を実施する伊勢市内の奉曳団団長ら総勢約180名が出席し結束を誓いました。

鈴木本部長は「本日で参集の皆様をはじめ、関わる皆様が一丸となり、第六十三回神宮式年遷宮におけるお木曳行事が盛大かつ安全に催行されますよう、お力添えの程よろしくお願い申し上げます。

最後に万歳三唱で御遷宮ならびにお木曳行事への機運はますます高まり、結成の喜びを胸に閉会いたしました。

いよいよ本年、御遷宮諸祭行事が始まります。

たします」とあいさつを述べ、関係者は背中に「伊勢」の文字が入った白いはつぴに鉢巻き姿で両宮を参拝させていただきました。

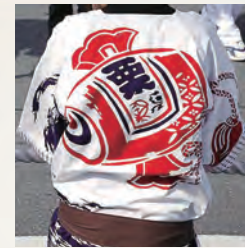
奉曳本部結成式では、顧問を務める久邇朝尊神宮大宮司から、同本部へ檜製の看板が贈られ、「我が国の文化の原点ともいえる式年遷宮を確実に次代に継承し、神宮のことをより深くご理解いただきたい」とお言葉を賜りました。

最後に万歳三唱で御遷宮ならびにお木曳行事への機運はますます高まり、結成の喜びを胸に閉会いたしました。

いよいよ本年、御遷宮諸祭行事が始まります。



宮川町奉曳団



栗友会辻久留奉曳団



徳川山鶴亀会奉曳団



常磐表町筋向橋連奉曳団



二俣町奉曳団・燕尾会



西口町瑞穂連奉曳団



浦口町奉曳団



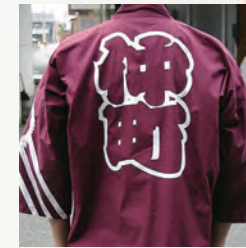
宮町奉曳団



常磐西世古奉曳団



常磐第一奉曳団



常磐仲町清栄社奉曳団



倭町奉曳団



黒瀬町橘栄社奉曳団



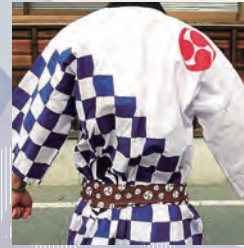
田尻町奉曳団



通町奉曳団



一色町奉曳団



一之木町須原奉曳団



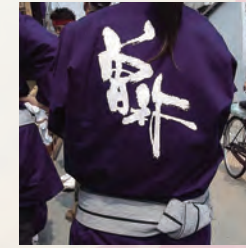
大世古町奉曳団



一志町奉曳団



宮後奉曳団



曾祢町奉曳団

一次号も奉曳団のはつぴを紹介します—



左より(敬称略)神宮少宮司 齊藤郁雄、神宮大宮司 久邇朝尊、伊勢御遷宮委員会会長(伊勢市長) 鈴木健一、奉曳本部 奉曳団連合会結成準備委員会委員長(伊勢商工会議所担当副会頭) 濱田典保

神宮大宮司、神宮少宮司と
会談を実施

令和6年11月1日に神宮司庁へ赴き、久邇朝尊神宮大宮司、齊藤郁雄神宮少宮司と会談の機会が設けられました。

会談では、伊勢御遷宮委員会会長・鈴木健一(伊勢市長)がお木曳行事に関する同委員会の事業に、神宮司庁から格別のご理解・ご支援を受けて実施できていることへの感謝をお伝えしました。それに対し、お木曳行事について、神宮としても大切な民俗行事を待ち望んでいまして、両者がお木曳行事を継承する上で同じ思いであることを改めて確認しました。

子どもからお年寄りまでみなが賑やかに奉曳し、まち全体で民俗行事を盛り上げれば、地域の絆もさらに強いものとなります。令和15年の御遷宮を心より共に祝い、未来への伝統の継承に繋げていきたいと思います。